

TRIP

Ichikawamisato

ICHIKAWADAIMON・MITAMA・ROKUGO



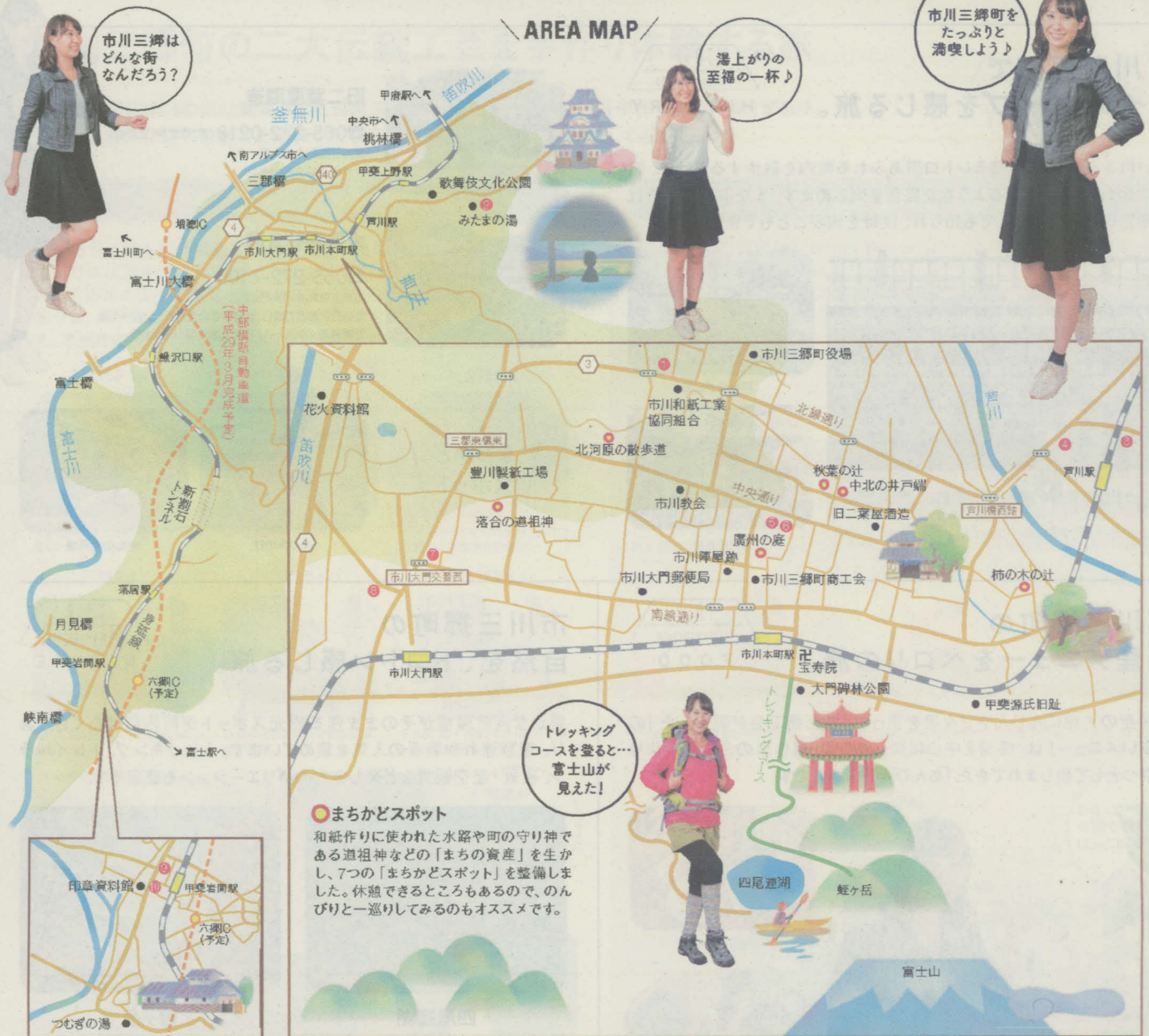
書／一瀬 浩 撮影地／旧二葉屋酒造

二大伝統工芸〔和紙・印章〕を実体験する旅

山梨県市川三郷町

ICHIKAWAMISATO TOWN YAMANASHI PREF.

AREA MAP



ACCESS INFORMATION



SHOP LIST

のっぴいのレストラン		
のっぴいの食事ができるお店（すべて市川三郷町）		
① レストラン ニューポート（要予約）	市川大門1729-1	055-272-5051
② みたまの湯みはらし亭	大塚2608	055-272-2641
③ 割烹 かさい	上野2602-3	055-272-5166
④ 戸田食堂	上野2836-2	055-272-0442
⑤ 大門軒	市川大門952	055-272-0269
⑥ 魚善	市川大門953	055-272-0050
⑦ みよし食堂	市川大門717	055-272-0806
⑧ 亀鶴	市川大門467-1	055-272-4120
⑨ かわち	岩間2021	0556-32-2333
⑩ あめ家	岩間1991	0556-32-3158

市川三郷町商工会

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門173 TEL.055-272-4711

市川三郷町商工会 / http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/~ichi_sato/

市川三郷町商工会

平成28年度小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業



市川三郷町の二大伝統工芸を手作り体験する旅



市川三郷町には、国・県に認定された伝統工芸品「市川手漉き和紙」と「甲州手彫り印章」があり、その製造技術は現代に脈々と継承されています。あなたも手作り体験をしてみませんか？

市川和紙の手漉き和紙体験

清少納言が日本初の随筆「枕草子」を書いた時代より150年も昔から、市川では紙漉きが盛んでした。肌吉紙とも呼ばれ武田氏、徳川氏の御用紙を務めた市川和紙は、大きな技術革新を経て機械紙漉きの技術確立し、障子紙では日本一のシェアを誇る地場産業の中心となっています。手漉きの技術は現在も受け継がれています。

STEP 1/



まずはお手本。賛桁(すけた)を使って紙を漉き上げる。

STEP 2/



漉いた紙を平らに重ねていく。

STEP 3/



いよいよわたしの出番。小さな賛桁で紙漉き体験開始!

STEP 4/



漉いた紙を裏かせて水分を取る作業。

STEP 5/



乾燥機に貼りつけて約5分間、熱で乾燥。

STEP 6/



うまく製がせば、わたしだけの手漉き和紙の完成!



町の無形民俗文化財に指定された市川製紙の市川秀雄さん

和紙がこんな風に作れるなんて不思議!

体験教室&ツアーを行なっています!

要予約

問い合わせはこちら/

市川三郷町商工会

☎055-272-4711

(平日9:00~16:30)

後継者募集中!!

市川三郷町商工会 検索



体験ができる市川製紙工場



手漉き和紙で作った商品



市川和紙工業協同組合

極みの花火を堪能する旅。



市川の花火は武田信玄時代の「のろし」が起源とされ、江戸時代には市川手漉き和紙の始祖「基左衛門」の命日にあたる7月20日に盛大な花火が打ち上げられ、日本三大花火のひとつに数えられました。平成元年に復活した「神明の花火大会」は基左衛門を祀る紙の神「神明社」に由来し、毎年8月7日(ハナビの日)に約2万発の花火が夜空を彩ります。



日本一のハンコの里で篆刻体験

市川三郷町の六郷地区は明治時代から印章業が盛んで、技術・歴史・生産高ともに「日本一のはんこの里」として成長してきました。人の手による熟練した技術とセンスは一朝一夕には身に付かないもので、厳しい要求に応えられる技術の蓄積があり、篆刻や印章彫刻で多くの名人、達人を輩出してきたことは六郷の人々の誇りです。

STEP 1/



まず先生が左右を逆にした篆書文字を印材に下書きします。

STEP 2/



彫り方を丁寧にレクチャーしてもらいます。

STEP 3/



文字の線の内側に刃先を45°の角度で突き入れて彫ります。

STEP 4/



彫り終えたら一度試し押しをして確認します。

STEP 5/



先生に見てもらい、手直しを受けながら仕上げ作業。

STEP 6/



きれいに仕上がりました、わたしの名前ははんこができました!



六郷印章業連合組合 彫刻部長の伊藤昭夫さん

わたしの名前で篆書体のはんこが完成!

体験教室&ツアーを行なっています!

要予約

問い合わせはこちら/

市川三郷町商工会六郷支所

☎0556-32-2159

(平日9:00~16:30)

後継者募集中!!

市川三郷町商工会 (詳細は左記参照)

体験施設はこちら/ 印章資料館

☎0556-32-2159

市川三郷町岩間2-180

平日9:00~16:30

土日祝10:00~15:00

※12月~3月の土日祝は休館



印章資料館



ハンコはその場で購入可能

市川三郷町で タイムスリップを感じる旅。



古い町並みや建物が残るレトロ感あふれる町内を散歩するだけで、昭和にタイムスリップするような新感覚を楽しめます。また市川三郷町は甲斐源氏発祥の地としても知られ、往時を偲ぶこともできます。



甲斐源氏旧址



市川陣屋跡



旧二葉屋酒造

☎055-272-0218 (株)邦文堂(要予約)
市川三郷町市川大門1170
文化庁登録有形文化財



大門碑林公園

☎055-272-7100
市川三郷町市川大門4930
定休日/毎週月曜日(休日の場合翌日)、12/27~1/4
営業時間/9:30~17:00(入園時間16:00まで)



柿の木の間



中北の井戸端

まちかど
スポット



市川三郷町の 特産メニューをペロリの旅。



町特産の大塚にんじんや甘々娘を使って、地元商工会が開発した「のっぴいメニュー」は、冬場を中心に楽しめます。農作業の合間に手作りおやつとして親しまれてきた「あんびん」も人気です。



のっぴいメニュー



あんびん

市川三郷町の 自然を、トコトン感じる旅。



豊かな自然環境がそのまま残る観光スポットが町内にはたくさんあり、家族連れや若者の人気を集めています。トレッキング、トレイルラン、夜景・星空観望など楽しみ方のバリエーションも豊富です。



四尾連湖

桜、新緑、紅葉、氷結と四季を存分に味わえる湖で、キャンプやパドルボートなどアクティブ派にもお勧めです。



蛾ヶ岳

山頂からの眺めは壮観で、富士山、八ヶ岳、奥秩父方面、北岳、間ノ岳と大パノラマが広がります。

市川三郷町で 体の芯からあったかい旅。



露天風呂からの山々の眺望と甲府盆地の煌めく夜景が自慢のみたまの湯、そして泉質に定評があり、リハビリ浴も備え湯治にも最適なつむぎの湯。ゆったりと湯船に浸る至福のひとつときは格別です。



みたまの湯/☎055-272-2641

市川三郷町大塚2608
定休日/年中無休(年間5日程度の休館あり)
営業時間/10:00~23:00(入館は開館30分前まで)



つむぎの湯/☎0556-20-2651

市川三郷町鴨狩津向640
定休日/毎週水曜日(祝日の場合翌日)、1月1日
営業時間/10:00~20:00(受付19:30)

EVENT INFORMATION



ぼたんの花まつり

開催日/毎年4月下旬 場所/歌舞伎文化公園
市川十郎発祥の地を記念して作られた歌舞伎文化公園に咲く約2000本の色とりどりの牡丹の花を楽しめます。



神明の花火大会

開催日/毎年8月7日 場所/三郡橋下流笛吹川河畔
県下最大級の花火大会で、大輪の花火が約2尺玉や、年ごとのテーマファイヤーなど約2万発が打ち上げられます。



はんこ日本一六郷の里秋まつり

開催日/毎年11月上旬 場所/六郷小学校
日本一のはんこの里である六郷地区で盛大に行われるはんこのお祭りです。
印章供養祭/10月1日 場所/富士見ふれあいの森公園



大塚にんじん収穫祭

開催日/毎年12月上旬の土曜日 場所/みたまの湯
長い物は1m以上にもなる「大塚にんじん」の直売、試食コーナー、特産品販売など多彩な催しが行われます。

春

夏

秋

冬